

**令和2年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 社会教育 課

1. 基本情報

1301

施設名	伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進し、あわせて市民の教養、文化の発展と健康の増進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	利用者人数 (単位： 人)	
	指標の意味	講座・イベント+施設+フィットネスの利用者のべ人数	
	今年度の目標値	60,000	今年度の実績値 8,713

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H28	H29	H30	R元	R2 (上期)	R2 (通期)
	来館者数 (人)		337,586	360,152	356,674	348,925	323,606	11,246
貸し室稼働率 (%)		39	43	42	41	40	23	23
講座開催回数(回)		630	998	1,023	1,019	969	95	319
講座参加者数(人)		18,879	43,623	45,435	46,119	41,762	2,778	7,571

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

区分		平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	3カ年平均	
収入	使用料収入	50,937	44,073	266	31,759	
	事業収入	15,372	14,712	3,755	11,280	
	その他	156	114	13,028	4,433	
	指定管理委託料	123,839	123,389	75,762	107,663	
	①合計	190,304	182,288	92,811	155,134	
支出	維持管理	光熱水費	22,976	23,744	5,077	17,266
		清掃等委託料	25,766	27,177	9,092	20,678
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	6,843	5,650	1,100	4,531
	運営	人件費	42,923	43,031	44,387	43,447
		事業等経費	84,925	80,357	26,836	64,039
		その他	4,880	4,165	4,075	4,373
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	188,313	184,124	90,567	154,335		
純収支 (①-②)		1,991	△ 1,836	2,244	800	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※		H27	H28	H29	H30	R元	R2
<単位:千円>	市の収入	267	394	228	154	150	21
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	269,744	125,707	129,013	126,696	127,397	89,126
	(内、指定管理委託料)	125,516	123,624	124,326	123,839	123,389	75,762
	実質経費 (歳出-歳入)	269,477	125,313	128,785	126,542	127,247	89,105

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	大規模改修工事によって、老朽化した施設・設備を更新した。あらゆる世代が利用しやすい施設となるよう心掛けた。	B	協定書・仕様書に基づき適切に実施されている。改修にあっても市と調整、連携を取りながら必要な対応がなされた。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	A		A	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	施設運営に関して、必要な経験と実績を積んだスタッフを配置。他館との連携を通じたスタッフ交流も行っている。	B	状況に応じた人員が配置されており、職員の資質向上にも取り組んでいる。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を配備。休館中のため、乗り込みホールの消防訓練に参加した。	B	緊急時の連絡体制など適正に整備されている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながらも、市民の学習意欲を損なわず継続できるような、できる限りの事業を実施している。	A	コロナ禍での事業においても感染防止対策を徹底しながら、適切に実施した。また、改修においても積極的な提案を行った。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	コロナの影響により事業中止や定員半減など計画変更を余儀なくされた。	B	コロナ禍による影響はあったものの着実に事業を実施した。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書や個人情報について、適切かつ厳重な管理を行なっている。	B	個人情報の取扱い等、概ね適正に管理がなされている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	コロナの影響による事業の中止等により大幅に減収となったが、支出抑制に努め、新型コロナウイルス対策協力金等により収支全体の均衡を図った。	B	新型コロナウイルスの影響を受けたが、支出の抑制を図りつつ概ね適正に運営がなされた。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	新型コロナウイルス感染症による影響を受けたものの、臨時休館等の対応を取りながら感染拡大防止に努め、新型コロナ対策と大規模改修という特殊な条件下で適切な対応がなされた。今後も感染症対策に留意しながら積極的な事業展開を期待したい。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和2年 月 日～令和2年 月 日

実施の有無	主な回答	主な対応
無し	改修工事のため実施なし	
回答者数		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置